



平成28年度 岩手県立北上翔南高等学校 学校経営計画

【教育目標】

生徒それぞれの個性を伸ばしながら、社会の変化に対応し時代を切り拓き、自ら課題を発見し解決に向け主体的に考え行動する能力と、生涯にわたって学び続ける意欲や態度を育成することを目標とする。

《教育基本方針》

- 1 生命を尊重し、心身の健康と調和を維持し、安全指導や環境の美化保全に取り組む。
- 2 基本的な生活習慣の確立と規範意識の高揚を図り、自主、自律及び自己管理能力を育てる。
- 3 生徒の個性を伸ばし、基礎学力や自己表現力を向上させる指導を行う。
- 4 「産業社会と人間」を通して進路への自覚を深めさせ、進路目標を達成させる指導を行う。
- 5 部活動、特別活動を活発に展開させ、学校の活性化を図る。
- 6 読書や芸術活動、ボランティア活動を通じて心の教育の充実や、地域との共生と連携を図る。

平成28年度経営方針

生徒が主体的に活動できる場を多く設定し、さまざまな経験を通して自尊感情や自己肯定感を高める教育を実践する。また、課題解決能力及びコミュニケーション能力の育成を意識した教育活動を展開する。つぎの5項目について、具体的な取り組みと数値目標は別に設定する。

- 1 学力向上、学力定着を目指した学習指導
- 2 基本的な生活習慣の確立と生徒指導
- 3 生徒の多様な進路希望を実現できる進路指導
- 4 特色ある学校・開かれた学校づくり
- 5 いわての復興教育の実践

平成28年度岩手県教育委員会 経営方針 (項目のみ)

- ◆震災からの教育の復興
 - I きめ細かな学校教育の実践と教育環境の整備・充実
 - 1 「いわての復興教育」の推進
 - 2 幼児児童生徒の心のサポートの充実
 - 3 児童生徒の安全で安心な教育環境の確保
 - II 文化芸術環境の整備や伝統文化等の保存と継承
 - III 社会教育・生涯学習環境の整備
 - IV スポーツ・レクリエーション環境の整備
- ◆いわて県民計画「第3期アクションプラン」の着実な推進
 - I 学校教育の充実
 - 1 教育推進に関する諸計画の一体的な推進
 - 2 児童生徒の学力向上
 - 3 キャリア教育の推進
 - 4 豊かな心を育む教育の推進
 - 5 健やかな体を育む教育の推進
 - 6 特別支援教育の充実
 - 7 家庭・地域との協働による学校経営の推進
 - 8 学校施設の整備
 - II 社会教育の充実と生涯を通じた学びの環境づくり
 - III 文化芸術の振興
 - IV 豊かなスポーツライフの振興
 - V 業務推進の基本姿勢
 - (1)教育行政の推進機能の充実
 - (2)市町村教育委員会との連携
 - (3)行動規範の確保
 - (4)学校現場でのOJTの推進
 - (5)現場支援としての事務局体制の強化
 - (6)組織横断的な業務推進
 - (7)業務の効率化及び質の向上
 - (8)PDCAサイクルを踏まえた経営計画の推進
 - (9)「いわて県民計画」アクションプランの着実な推進
 - (10)事務局の組織体制の整備

学校に対するニーズ

- | | |
|------------------|------------------------|
| (生徒が学校に望むこと) | (保護者が学校に望むこと) |
| 1 わかる授業 | 1 学力向上や生徒指導において信頼出来る学校 |
| 2 進路希望の実現 | 2 個々の実態に応じた進路指導及び進路の実現 |
| 3 学校行事の充実 | 3 学校情報の提供 |
| 4 部活動の充実 | 4 基本的な生活習慣の確立 |
| (地域が学校に望むこと) | (その他、進路先等が学校に望むこと) |
| 1 貢献・ボランティア・郷土芸能 | 1 職業観及び勤労観の育成 |
| 2 交通マナーの習得 | 2 基礎学力の習得 一般常識教養の習得 |
| 3 挨拶の励行 | 3 コミュニケーション能力の育成 |
| 4 諸行事等の連携 | 4 基本的な生活習慣の確立 |

学校に影響を与える変化

- 1 中学校の総合学科教育への関心と理解の程度および進路指導のあり方
- 2 多様な選択教科と必修教科指導を行う教員の配置
- 3 総合学科高校の魅力や特色を出すための施設・設備の整備状況

5つの柱

学力向上、学力定着を目指した学習指導

- 1 学力向上・授業力向上
 - ①わかる授業で確かな基礎学力を身につける
 - ・授業の内容がわかると答える生徒
 - ・基礎力確認調査
 - ②個々に応じた指導の充実と家庭学習の習慣化
 - ③読書指導と表現力の向上
 - ・朝読書(正味10分間)
 - ④「産業社会と人間」授業の充実
 - 情報提供や体験学習等に取り組む
 - ⑤教員の指導力向上
 - ・授業公開や授業研究会を実施する。
 - ・先進校視察や研究授業参観、研修の機会設定

基本的な生活習慣の確立と生徒指導

- 2 生活指導・生徒指導
 - ①豊かな心を育む教育の推進
 - ②社会に通用する基礎基本(マナー)や規範意識を身につけ、自主自律心を育成する
 - ③安全教育の推進(登下校の交通安全等)
 - ④部活動、特別活動を活性化させる
 - ⑤教育相談の充実
 - ⑥いじめの防止
 - ⑦家庭と連携した健康教育の充実
 - ⑧主権者教育の実施

生徒の多様な進路希望を実現できる進路指導

- 3 進路指導
 - ①進路第一希望達成率
 - 国立大50%、私立大90%、医療系80%
 - 就職80%、公務員60%
 - (卒業時100%決定)
 - ②「産業社会と人間」授業を有効活用
 - ③インターンシップの事業所を開拓
 - ④全商1級3種目以上合格者を情報系列の50%にする
 - ⑤その他各種検定取得に取り組む

特色ある学校・開かれた学校づくり

- 4 特色ある学校づくり・情報提供
 - ①総合学科の充実
 - ②PTA・同窓会・学校評議員との密接な連携
 - ③HPや年次通信等による情報提供
 - ④地域行事等への積極的な参加
 - ⑤積極的なボランティア活動

いわての復興教育の実践

- 5 いわて復興教育
 - ①被災地の復興の現状把握や考える場を設ける(講演会、ボランティア、慰問活動)
 - ②防災教育(避難訓練)
 - ③募金活動(インターアクト、JRC、PTA活動)

授業の充実、部活動の充実、特別活動の充実

情報データ・ベースの構築と分析、そして改善・行動

教職員・生徒・保護者による学校評価、生徒による授業評価、学校評議員による提言、地域・小中学校・進路先からの声